

単元名：跳び箱運動 ～ふわっと跳んでピタッと止まろう～  
(小学校第6学年 体育科)



## ICT活用のねらい

- ・ 友達同士で動画撮影することで(ふわピタ動画)、「助走・踏み切り・着手・姿勢・着地」という5つの局面を視覚的に確認することができます。
- ・ 学習カードにスライドを活用し、めあてや振り返りの記入に加え、ふわピタ動画を挿入することで、単元を通したデジタルポートフォリオを作り自己の変容を捉えることができます。

## 学習の流れ

本時の目標:跳び箱運動の行い方を知り、跳び箱運動の面白さを理解することができる。  
【知識・技能】

導入	展開	まとめ
<p>○場の設定を行い、グループごとに準備運動する。 ○動画を視聴し、跳び箱運動の面白さを考える。</p> <p>活用ポイント① 【再生機能】</p> <p>&lt;めあて&gt; 跳び箱をふわっと跳び越し、ピタッと止まろう！</p> <p>○跳び箱の学習の約束を知る。</p>	<p>○今できる技を使って「跳び箱を跳び越せるかどうか」にチャレンジする。</p> <p>活用ポイント② 【カメラ機能】</p> <p>○今日の「ふわピタ動画」をペアで撮影する。</p> <p>活用ポイント③ 【カメラ機能】</p>	<p>○スライド機能を使って本時の振り返りを行う。その際、今日のふわピタ動画も挿入し提出する。</p> <p>活用ポイント④ 【スライド機能】</p> <p>&lt;評価&gt; (知識・技能) ◆ 跳び越すことに挑戦することができている。 C→児童が安心して取り組める高さを確認し、一緒に声をかけながら挑戦することを促す。</p> <p>○後片付けをする。</p>

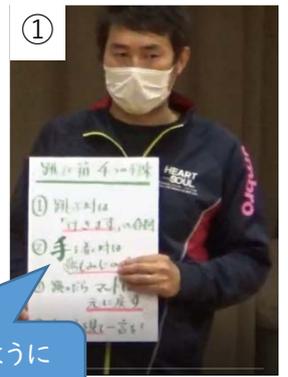
詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトをご覧ください  
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>



①動画を視聴し、跳び箱運動の面白さを考える。  
【再生機能】

<めあて>  
跳び箱をふわっと跳び越し、  
ピタッと止まろう！

動画と自分たちの共通点は  
何かな？



重要なことは、掲示できるように  
紙に書くことも大切です。



何度も挑戦していてすごいねー！

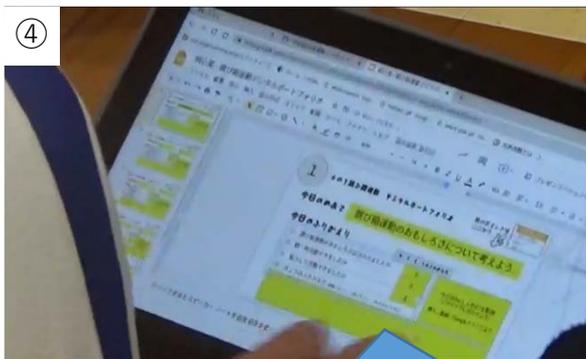
②今できる技を使って「跳び箱を跳び越せるかどうか」にチャレンジする。  
【カメラ機能】

子どもたちがチャレンジしている間、教師が  
子どもたちの様子を撮影します。



③今日の「ふわピタ動画」をペアで撮影する。  
【カメラ機能】

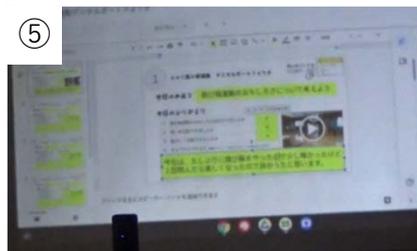
「ふわピタ動画」とは、活動の終わりに自分の動きを撮影し、振り返りに活かすための動画です。毎回の授業で撮りためていきます。



今日のめあての記入欄、自己評価の記入、動画の挿入、振り返りの記入ができるように、レイアウトを作っています。

④スライド機能を使って本時の振り返りを行う。その際、今日のふわピタ動画も挿入し提出する。【スライド機能】

スライドを使うことで、毎時間の振り返りを保存できます。デジタルポートフォリオとして活用でき、自己の変容を確認できます。



動画も確認できます。コマ送りもできとても有効!!



⑤全体で振り返る。

鹿島市立明倫小学校のエリアーリーダー樋口祥太教諭の体育科の実践です。跳び箱運動で、児童の動きを視覚的に捉えるために主にカメラ機能が使われていました。活動の終わりに動画を取り、振り返りにもその動画を挿入することで、デジタルポートフォリオとして活用していく取組が行われました。体育だけでなく、いろいろな教科でこの振り返りの方法が使えるそうです。運動に集中する場面、端末を使う場面が分かれており、子供たちが生き生きと活動し技能を伸ばしていくために1人1台端末を効果的に活用した授業でした。